

かざま うら

議会だより

風間浦小学校 開校!



正面から



グラウンド側から

No. 82

平成28年4月13日発行

■発行:青森県風間浦村議会
■編集:議会広報編集委員会
〒039-4502 青森県下北郡
風間浦村大字易国間字大川目28-5
TEL 0175-35-2115(FAX兼用)

- 2 ■ 平成 28 年度予算可決
- 5 ■ 定例会の審議内容
- 8 ■ 議会運営委員会報告
- 8 ■ 常任・特別委員会報告
 - 総務常任委員会
 - 大間原子力発電所対策特別委員会
 - 予算審査特別委員会
- 12 ■ 一般質問・・・4名登壇
- 16 ■ ちょっと一言・編集後記

平成28年度 村の予算 23億円 を 全会一致 可決

平成28年度一般会計・特別会計の各当初予算が第1回村議会定例会で可決されました。

一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ23億1648万8000円となり、平成28年度当初予算と比較して、31・3%の減額となりました。

予算編成の状況は

平成28年度においても、国の施策の動向を注視するとともに、人口減少対策、福祉対策、産業・雇用創出などの事業を展開していくため、自主財源の確保対策、普通建設事業の見直しによる地方債発行の抑制、また、単に歳出削減を行うのではなく創意と工夫による施策の展開、特に簡易水道施設整備事業では、事業費の財源に係る過疎債、水道事業債の借入額を精査し、償還における財政負担を考慮した償還計画を作成するなど、様々な状況を想定した財政計画を策定していく。

主な事業への取り組みは、風間浦村総合計画、風間浦村総合戦略に掲げた5つのプロジェクトによるKPI（事業業績指標）を達成するために新規事業及び継続事業として取り組む。

①「定住応援むらづくり」では、診療所への患者送迎を行うコミュニティバス運行事業委託料、地域活性化などを目的とする自治会等活動事業補助金を予算化。

②「きずな応援むらづくり」では、ふるさと名物応援宣言や観光客誘客などによる交流人口の拡大を図るため、ゆかい村どんぶりまつり事業補助金、鮎鱈ブランド化戦略事業に対する補助金などを予算化。

③「名物応援むらづくり」では、地域資源の有効活用を図り雇用の場を確保するため、漁協が取り組む水産多面的機能発揮事業への負担金、森林整備活動支援推進事業補助金などを予算化。

④「子育て応援むらづくり」では、子育てしやすい環境づくりに努めるため、新規に保育料の第2子以降の無料化事業、中学生までの医療費無料化事業、放課後子ども教室事業、風間浦中学校同志社体験入学などの同志社大学、青森公立大学との連携・交流事業の予算化。

⑤「健康応援むらづくり」では、インフルエンザ予防接種無料化事業、健康診査無料事業には、国保特別会計予算と連携して予算化し、健康な村民を増やし医療の抑制に繋げる。

他に、簡易水道特別会計では、易国間・蛇浦地区簡易水道整備事業で施設整備計画が過大とならない対策として、平成28年度は、水道管漏水調査及び補修等整備事業を予算化。早急に基本設計をまとめるとともに、現水道施設の維持管理を強化し、水道水の安定的な供給体制を図り、早期に事業着手したい。

○一般会計予算

2,316,488 千円
 (前年度) 3,373,389 千円
 (増減) △1,056,901 千円



○後期高齢者医療特別会計予算

25,005 千円
 (前年度) 23,092 千円
 (増減) 1,913 千円



○国民健康保険特別会計予算

405,660 千円
 (前年度) 396,977 千円
 (増減) 8,683 千円



○下風呂財産区一般会計予算

14,835 千円
 (前年度) 13,482 千円
 (増減) 1,353 千円



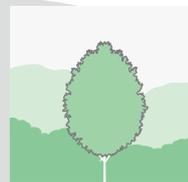
○簡易水道特別会計予算

101,784 千円
 (前年度) 112,070 千円
 (増減) △10,286 千円



○易国間財産区一般会計予算

258 千円
 (前年度) 1,374 千円
 (増減) △1,116 千円

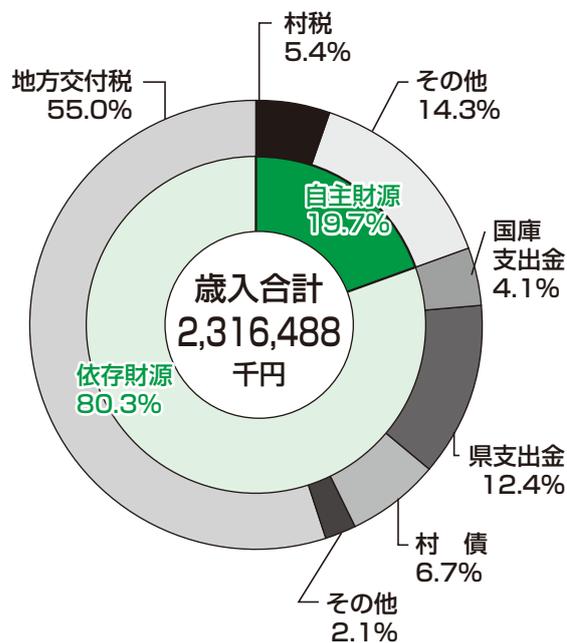
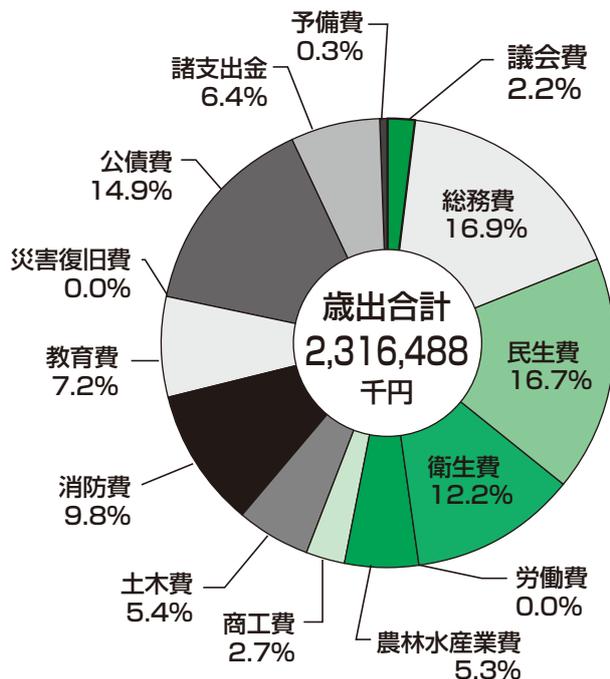


○介護保険特別会計予算

335,438 千円
 (前年度) 324,765 千円
 (増減) 10,673 千円



平成28年度一般会計歳入歳出予算構成図表



目的別歳出予算の主な内容（前年度予算との比較）

（単位：千円）

科 目	予 算 額 (前年度)	前年度予算との比較
1. 議 会 費	50,167 (55,326)	議員共済会給付費負担金などの減により、 5,159千円 の減額
2. 総 務 費	391,922 (352,181)	番号制度（マイナンバー）対応システム改修事業、 公用車購入事業などの増により、 39,741千円 の増額
3. 民 生 費	387,757 (392,600)	老人施設措置費等扶助費が増額となる一方、下北地 域広域行政事務組合負担金などの現により、 4,843千円 の減額
4. 衛 生 費	281,460 (470,075)	再生可能エネルギー導入事業の終了などにより、 188,615千円 の減額
5. 労 働 費	2 (2)	前年度同額
6. 農林水産業費	122,638 (120,597)	水産多面的機能発揮事業負担金などの計上により 2,041千円 の増額
7. 商 工 費	61,732 (62,322)	桑畑温泉施設管理費の減などにより 590千円 の減額
8. 土 木 費	126,243 (122,314)	村営住宅新甲平ノ上団地建設事業、広域避難路事業 などの計上により 3,929千円 の増額
9. 消 防 費	226,435 (223,181)	下北地域広域行政事務組合負担金などの増により、 3,254千円 の増額
10. 教 育 費	166,252 (1,054,513)	風間浦小学校建設事業の終了及び旧小学校管理費の 減により、 888,261千円 の減額
11. 災 害 復 旧 費	4 (4)	前年度同額
12. 公 債 費	346,036 (359,711)	漁港整備事業債元金償還終了などにより 13,675千円 の減額
13. 諸 支 出 金	148,049 (153,439)	前年度対比 5,390千円 の減額
14. 予 備 費	7,791 (7,124)	667千円の増で 7,791千円 を計上
歳 出 合 計	2,316,488 (3,373,389)	1,056,901千円 の減額

平成28年度予算

3月 定例議会 めらまし



金 森 議 長



飯 田 村 長

人事案 9 件・専決処分 2 件・条例案 21 件・指定管理者の指定 1 件・請求権の権利放棄 1 件・道路線の認定 1 件・補正予算案 5 件

人 事 案

全会一致同意

☆下風呂財産区管理委员会委员の選任につき同意を求め

内容：3月31日任期満了の6名の再任及び欠員となっていた1名の選任

(再任) 平井賢一氏・酢谷常志氏・木村喜志雄氏・扇谷靖氏・小山攻一氏・酢谷一利氏
(新任) 八谷宏氏

☆易国間財産区管理委员会委员の選任につき同意を求め

内容：欠員となっていた2名の選任

(新任) 工藤豊彦氏・池田修氏

専決処分承認案

全会一致承認

☆平成27年度国民健康保険特別会計補正予算

内容：保険給付費増加に伴う追加補正

2520千円

☆平成27年度一般会計補正予算

内容：除雪委託料の追加補正 750万円

条 例 案

全会一致可決

☆風間浦村空き家等の適正管理に関する条例

内容：空き家等の適正管理により、防災・防犯・衛生及び景観等の生活環境を保全する

☆風間浦村行政不服審査会条例

内容：行政不服審査法に基づき、風間浦村行政不服審査会の組織及び運営に関する事項

を定める

☆風間浦村職員定数条例の一部を改正する条例

内容：職員定数の適正化（現状定数74名を59名に改正）

☆風間浦村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

内容：行政不服審査法の全部改正に伴う改正

☆風間浦村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例

内容：地方公務員法の一部改正に伴い降格に関する分限処分等について規定

☆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

内容：青森県人事委員会勧告に準じ、給料月額及び勤勉手当等の改正

☆風間浦村特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例

内容：国の特別職の改正に準じ、期末手当支給割合の改正

☆風間浦村教育委員会教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例

内容：風間浦村特別職の給料等に関する条例の一部改正に準じて、期末手当支給割合の改正

☆議会議員の報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

内容：風間浦村特別職の給料等に関する条例の一部改正に準じて、期末手当支給割合の改正

☆風間浦村公共施設維持運営基金条例の一部を改正する条例

内容：基金の設置目的の改正

☆風間浦村税条例の一部を改正する条例

内容・公害防止用設備に係る課税標準の特例率の改正

☆風間浦村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

内容・軽減措置に係る所得判定基準の改正

☆風間浦村立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

内容・風間浦小学校の所在地について、分筆測量による地番の改正

☆風間浦村教員住宅使用料徴収条例の一部を改正する条例

内容・教員住宅解体による関係部分の削除

☆風間浦村スポーツ公園設置条例の一部を改正する条例

内容・多目的グラウンドの完成により、施設名及び位置を定める

☆風間浦村スポーツ公園使用条例の一部を改正する条例

内容・多目的グラウンドの使用及び使用料について定める

☆風間浦村保育所条例の一部を改正する条例

内容・風間浦小学校の分筆測量による保育所の地番を改正

☆風間浦村種苗供給施設設置条例の一部を改正する条例

内容・あわび稚貝等の生産を廃止したことによる施設名称の変更

☆風間浦村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

内容・消防団員数の実状に合わせ、団員定員の改正（現狀定員190名を150名に改正）

☆風間浦村議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例

内容・議決すべき事件に、村における総合かつ計画的な行政運営のための計画を追加

☆行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

内容・行政不服審査法の全部改正に伴い、引用規定等の整備

指定管理者の指定

全会一致可決

☆指定管理者の指定に関する事

内容・指定期間満了となる「活イカ備蓄センター」の指定管理者を、引き続き3ヶ年風間浦村観光協会とする。



活イカ備蓄センター

請求権の権利放棄

賛成多数可決

賛成5 反対2 賛成多数

☆風間浦村水道使用料の不納欠損に係る請求権の権利放棄

内容・平成11年4月分から平成16年3月分までに係る請求権の権利放棄

道路線の認定

全会一致可決

☆風間浦村道路線の認定

内容・道路改良事業により新設した大川目支線の道路認定



路線認定された大川目支線

補正予算案

全会一致可決

☆平成27年度一般会計補正予算

内容・1千830万円の減額

歳入の主なるもの

- ・ 地方交付税 159万1千円の追加
- ・ 国庫支出金 325万2千円の減額
- ・ 県支出金 718万9千円の減額
- ・ 寄附金 305万円の追加
- ・ 繰入金 600万円の減額
- ・ 村債 650万円の減額

歳出の主なるもの

- ・ 地方公共団体情報セキュリティ強化対策業務委託料 1千169万1千円の計上
- ・ 低所得の高齢者向け臨時福祉給付金 1千95万円の計上
- ・ 国保基盤安定繰出金 403万6千円の追加
- ・ 海岸漂着物地域対策推進事業業務委託料 204万円の減額
- ・ 再生可能エネルギー導入事業工事請負費 199万8千円の減額
- ・ 水産振興対策及び組合経営強化対策事業補助金 600万円の減額
- ・ 広域避難路村道古野・大川目線道路新設事業に係る経費 3千500万円の減額
- ・ 奨学金貸付金 158万円の減額
- ・ 財政調整基金積立金 300万円の減額
- ・ ふるさと応援基金積立金 305万円の追加

☆平成27年度国民健康保険特別会計補正予算

内容・291万6千円の追加

歳入の主なるもの

- ・ 繰入金 291万6千円の追加

歳出の主なるもの

- ・ 出産育児一時金 168万円の減額
- ・ 一般被保険者療養給付費 500万円の追加
- ・ 一般被保険者高額療養費 300万円の追加

☆平成27年度簡易水道特別会計補正予算

内容・350万円の減額

歳入の主なるもの

- ・ 繰入金 140万円の減額

歳出の主なるもの

- ・ 簡易水道施設整備事業債 210万円の減額
- ・ 易国間浄水場バルブ修繕料 90万円の減額
- ・ 蛇浦地区送水管整備工事請負費 145万円の減額

☆平成27年度介護保険特別会計補正予算

内容・81万円の追加

歳入の主なるもの

- ・ 国庫支出金 81万円の追加

歳出の主なるもの

- ・ 介護システム改修業務委託料 59万8千円の減額
- ・ 地域密着型介護サービス給付費 961万9千円の減額
- ・ 居宅介護サービス給付費 1千20万円の追加
- ・ 特定入所者介護サービス費 200万円の追加

☆平成27年度下風呂財産区一般会計補正予算

内容・歳出予算の更正

- ・ 歳入の主なるもの
- ・ 大湯・新湯修繕料 65万円の追加
- ・ 下風呂財産区整備基金積立金 90万円の減額

平成28年 第1回臨時会

平成28年3月28日、第1回臨時会が開催されました。
(欠席議員なし)

補正予算案

全会一致可決

☆平成27年度一般会計補正予算

内容・国における地方創生加速化交付金事業採択による補正予算で、1476万9千円の追加

歳入

- ・ 国庫支出金 1476万9千円の追加

歳出の主なるもの

- ・ 下北半島ジオパーク構想推進協議会負担金 100万円
- ・ ふるさと探訪ほのぼの事業委託料 203万2千円
- ・ ふるさと探訪ほのぼの事業備品購入費 135万円
- ・ 下北観光協議会事業負担金(プラットフォームフォーラム事業) 242万2千円
- ・ 子ども学習塾事業講師謝礼 73万5千円の計上
- ・ 子ども学習塾事業備品購入費 675万円の計上

3月定例議会
第1回臨時会

議会運営



杉山 太
委員長

【2月16日開催】
(欠席委員なし)

平成28年第1回3月定例会の運営に関する事項について審議した。

☆定例会は

今期定例会は、3月4日招集の意向を受け、提出となる案件等を勘案した結果、会期は、同日より10日までの7日間とすることにした。

招集告示日は2月24日、一般質問通告期限は、2月23日午後3時まで。

会議日程は、開会初日の4日は、会期の決定、施策要旨並びに提案理由の説明、特別委員会の設置、各委員会の委員長報告並びに一般質問までとし、7日より議案等の

☆新年度予算の審議は
予算審査特別委員会を設置し、3月7日及び8日に審議する。

審議を行うが、7日午後から9日午前中は、休会とし予算審査特別委員会及び大間原子力発電所対策特別委員会を開催する。

☆人事案件の提案がある場合としての表決方法は

同一の管理会委員の人事案件ということで、起立表決。

☆諮問は

本日現在受理した陳情2件について審議。

◎陳情1

「若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情」

・財源確保も協議すべきで、更に検証が必要であり今回は資料配付。

◎陳情2

「軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情」

・平成26年12月定例会において、同様の意見書を提出しているの、今回は資料配付。

総務常任



菊池 隆年
委員長

【2月19日開催】
(欠席委員なし)

総務課から

☆風間浦村過疎地域自立促進計画(注①)について

委員

行政側から

・まち、ひと、しごと創生事業と組み合わせる計画なのか。

答

村総合計画の中に戦略が含まれ、全てのもを網羅したものが総合計画となっている。

☆第一次風間浦村総合計画(注②)について

委員

・構想としてはすばらしいが、人口減少が進む

中、どのように現実のものにしていくかが大変で、これまでのような過疎債頼みの財政ではもっていけないのではないか。

注①「過疎地域自立促進計画」とは・・・

過疎地域の指定を受け、産業振興・生活環境の整備及び住民福祉の向上等のための計画を策定することにより、「過疎債」という財源措置が有利な起債を活用できる。

今回の計画期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間。

注②「第一次風間浦村総合計画」とは・・・

水産業及び観光に特化した施策、交流人口の拡大、移住に係る空き家の活用、定住対策や少子化

対策の支援等により、魅力あるむらづくりの実現にむけるための計画。計画期間は、平成28年度から平成37年度までの10年間。

村民生活課から

☆臨時福祉給金事業について

委員

・期間中に対象者が、申請しない場合はどうするのか。

答

・すべての対象者の家庭を訪問し対応する。

☆保育料無料化事業について

委員

・同時入所の場合の第2子が対象なのか。

答

・同時入所でなくても、第1子が18歳以下であれば対象となる。

☆その他

問 委員

・保育所指定管理料について、予算委員会で資料の提出を求める。

産業建設課から

☆平成27年度事業進捗状況について

問 委員

・易国間・蛇浦地区の漏水は、以前からのものなのか。

答 行政側から

・漏水箇所があるとかではなく、漏水の疑いがあるため調査を行う。

問 委員

・村道大川目住宅線の工事費の財源は。

答 行政側から

・全額過疎債であり、戻ってくる7割については一括ではなく、12年償還で各年度毎の償還額に対しての7割である。



袋小路解消？（大川目住宅線）

☆水道使用料滞納状況について

答 行政側から

・平成26年度までの滞納状況及び収納状況の説明。

税務国保課から

☆村税の不納状況及び回収状況について

問 委員

・水道料については、（給水停止措置により）成果が見受けられ

答 行政側から

るが、税の未納者について庁内で個々に調査しているのか。

・滞納整理機構（県の機関）と連携し、預貯金調査等を行っている。

問 委員

・この滞納問題は、行政職員がどう取り組むのが問題で、解決するよう全庁挙げて取り組んでもらいたい。

大間発問

〔12月15日開催〕

☆新規制基準適合性審査の対応状況について

電源開発株式会社から

・これまで6回の審査会合が開催されているが、9月報告以降は開催されていない。現在多くの発電所が適合審査を受けているが、川内原子力発電所は審査が終了し再稼働、高浜発電所も審査が終了しているが、大間発電所を含め、柏崎刈羽以外のBWRプラントにおいては、審査会合がほとんど開催されていない。引き続き、他の状況を参考に全社を挙げて全力で審査に取り組む。



平井 賢一
委員長

問 委員

・一年でも早い運転開始を望む。

答 会社側から

・今置かれている状況は、なかなか厳しいものもあるが、真摯に適切に対応し、地元の信頼と期待に応えるべく進みたい。

☆大間原発三ヶ町村協議会要望活動について

行政側から

・青森県選出自民党国會議員と協議会との懇談会という形で行われ、防災避難道路の整備促進の要望書を提出した。

問 委員

・協議会は機能しているのか。

行政側から

・機能しているので、要望活動等を行っている。



電源開発(株)からの説明

平成 28 年度一般会計予算及び各特別会計予算を賛成多数可決



予算審査特別委員会採決の様子（賛成 6、反対 1）

8 日の 2 日間で審議。
（欠席委員なし）
予算審査特別委員会を設置し、3月7日及び

予算 審査



杉山 太
委員長

委員からの質疑

委員から

行政側から

基金繰入金の状況は。

Q

&

公共施設維持運営基金及び地域活性化基金については、今後も見込めるが、今後はできる限り使途が自由な財政調整基金に積み立てしていきたい。

地方交付税の見込みは。

Q

&

昨年実施された国勢調査の人口減等を考慮して 2 千万円減額している。

風間浦保育所の指定管理料は、どのように協議し精査したのか。

Q

&

3 回にわたり交渉した結果、平成 27 年度と比較してかなり圧縮した。

老人無料入浴事業について、昨年の予算委員会で小学生以下も対象にと要望したが、協議結果は。

Q

&

まだ協議していないので、子育て事業を合わせて検討する。

農業集積事業の内容及びニホンザル被害の状況は。

Q

&

集積事業は、農用地の利用状況調査等で補助率 10 割の事業。
ニホンザルの被害については、金額的には減りつつあるが生息数は増えている。

水産多面的機能発揮事業、種苗供給施設における事業計画内容等は。

Q

&

今後は、広域浜プランの策定が必要となるので、状況を把握し漁協とも協議していく。

委員から

行政側から

<p>桑畑温泉の食堂部門における収益と貯湯槽清掃作業内容は。</p>	<p>&</p>	<p>収益は 70 万円位で、貯湯槽清掃は年 1 回業者委託している。</p>
<p>新甲平ノ上団地に係る委託料の内容は。</p>	<p>&</p>	<p>3 棟 9 戸分の設計で、外構に関しては付け替え道路も含む。</p>
<p>教員住宅建設予定、同志社中学校との交流日程、風間浦小学校備品購入に内容、奨学金の償還状況は。</p>	<p>&</p>	<p>教員住宅については、過疎計画で予定されている。同志社との交流日程は、教育委員会でも協議している。小学校の備品購入は、6 年生対象にタブレットを購入する計画。奨学金の滞納分にかんしては、保証人にも対処する。</p>
<p>国民健康保険給付費の伸びの要因、それに対する対策は。</p>	<p>&</p>	<p>要因については、新生物（がん）の入院が増えたため、健診の受診率を上げ早期発見、早期治療を進めていく。</p>
<p>自治会等活動事業補助金、旧小学校の維持管理費は。</p>	<p>&</p>	<p>自治会補助金は、各自治会 30 万円が限度額で、会長等へ説明していく。 旧小学校維持管理費は、委託料の他、電気料、水道料があり合計 201 万円程度となる。</p>
<p>街路灯の設置等について</p>	<p>&</p>	<p>防災上の問題もあるので、関係課含めて協議する。</p>

意見

- ・大川目住宅線道路改良工事は、村民の納得いくものにしてもらいたい。
- ・水道管調査業務について、漏水の疑いがあるなら一日も早く対応してもらいたい。
- ・簡易水道特別会計への繰入金が多額になっているが、各地区の施設も古くなっており、今後大きな改修が必要となれば強靱な姿勢をもって収入面を確実にしなければならない。
- ・桑畑温泉は、健康増進施設というものの累積赤字は相当で、黒字になることは考えられないのではないか。

総括質疑

- 問** 予算編成について、どのような指示により行われたのか。
- 答** 厳しい中でも実施しなければならないところは予算化し、無駄は省きということで一律減額等ではない。
- 意見** 今後を考えると、原発関係の交付金が無くなっていき、基金に関しても水産業振興基金を除くと半分の金額になることから、優先順位を決め進めていってほしい。
- 行政から** 財政的には非常に厳しい状態が続くので、国の動向を注視しながら、公共施設維持運営基金及び地域活性化基金を運用していくこととなる。

村政を問う！ 一般質問

◎一般質問とは、定例会（臨時会は除く。）において、議員が、あらかじめ村長に通告して、村の施策の状況や方針について、報告・説明を求めたり質問することです。

当村議会においての一質問者の持ち時間は、質問答弁を含め1時間に制限されています。

① 統合小学校完成後の返済計画とその財源確保の実態と村財政の見通しについて問う。



酢谷一利 議員

問

1. 本体新築工事、グラウンド整備工事の事業額と国庫補助額、地方債（過疎債）、村負担額はいくらか。

答・村長

風間浦小学校新築事業費は、12億5792万7千円。財源内訳は、国庫支出金4億2136万9千円、過疎債8億2730万円、一般財源925万8千円（ア）。

過疎債償還額のうち交付税措置される7割分は、5億7911万円、村負担の3割分は2億4

（ウ十カ）となる。

2. 償還額は、元金と利息の合計でいくらか

問

答・村長

819万円（イ）となり、建設時の実質的村負担額は、過疎債償還分（3割分）と一般財源（ア十イ）を合わせた2億5744万8千円（ウ）となる。

多目的グラウンド整備事業費は、1億3286万9千円。財源内訳は、過疎債1億3280万円、一般財源6万9千円（エ）。過疎債償還額のうち交付税措置される7割分は、9296万円、村負担の3割分は3984万円（オ）となり、建設時の実質的村負担額は、過疎債償還分（3割分）と一般財源（エ十オ）を合わせた3990万9千円（カ）となる。

従って、小学校建設と多目的グラウンド整備の合計で、実質的村負担額は2億9735万8千円

小学校建設事業費の過疎債借入額は、平成25年度事業分5930万円、平成26年度事業分2億2900万円、平成27年度事業分5億3900万円、合計8億2730万円となり、多目的グラウンド事業費の借入額は、平成26年度事業分として1億3280万円を借り入れており、過疎債借入額は、両事業合計9億6010万円となった。

過疎債償還について、12年間で償還だが、最初の3年間は利子分のみの償還となり、4年目以降元金と利子の償還となる。償還分に対する交付税措置は、各年度の償還額に対する7割分となる。

借入合計額に対する利息は、金融緩和政策によ

問

3. 償還（返済）財源確保と村財政状況の見通しは

28年度当初予算額は、対前年度比10億円、31%の大幅減となった。償還の主たる財源は、地方交付税12億7500万円と

答・村長

単年度の収入などで賄うことに無理がある公共施設の建設事業は、地方債の発行により所要資金を調達することで、当該事業の円滑な執行を図るとともに、元利償還金の



風間浦小学校図書室

一般質問 Q&A

支払いという形で、財政負担を後年度に平準化することができると、計画的な財政運営の有効な手段となっている。

地方債の償還は、使途に制限のない一般財源である地方交付税や地方税などを財源として計画に基づき行うこととなる。

平成28年度当初予算における地方交付税は、村の歳入の55%を占めている。

電源立地地域対策交付金は、電力県移出分と発電施設周辺分は、原子力発電施設等の着工年度から運転終了年度までの間交付されるので、基金に積み立てる計画である。

また青森県核燃料物質取扱税交付金は、青森県が核燃料取扱税を事業者等から徴収している地方税の一部を村に交付しているもので、県が税を徴収している間は、村への交付も続くものと考ええる。

小学校建設及び多目的グラウンド整備事業による起債借入に係る年度別

償還額は、平成31年度から平成37年度の間は1億731万9千円となるため、財源の確保、各種補助制度の活用などによる歳入の確保、財政措置が有利な起債の発行に努めることが必要なほか、歳出では、行財政改革による歳出の抑制、普通建設事業では、村総合計画、総合戦略、過疎計画に基づく事業の優先順位等について検討するなど、現在の国の情勢も考慮した財政計画を作成し、財政の健全化に努めていく。



菊池隆年 議員

- ① 統合後の3小学校の取扱いについて
- ② 桑畑温泉の管理運営について
- ③ シルバー人材センターの現況報告を
- ④ 地熱開発事業の現況報告を

問

1. 統合後の3小学校の取扱いについて

今後の利活用計画、地元住民との協議時期について及び現在の庁内での協議状況について

答・村長

平成27年12月25日付で、管理職員を委員とする『風間浦村立学校廃校舎等利活用検討委員会』を設置しており、今後進めていく。また住民より意見を伺い検討すべきと考えている。現時点では、「第一次風間浦村

総合計画」で大きな方向性を示し、「風間浦村まち・ひと・しごと総合戦略」及び「風間浦村まちづくり委員会」等において議論がなされている。

○蛇浦小学校は、教育・体験・交流の拠点にできないか。

○易国間小学校は、体育館を社会体育館、跡地を公共施設の拠点づくりに利用できないか。



旧下風呂小学校



旧蛇浦小学校



旧易国間小中学校



桑畑温泉湯ん湯ん♪

○下風呂小学校は、地熱

開発、防災関係又は老人福祉施設等に利用できないか。

などの意見が出されているので、少しでも早く住民の声を聞く機会を設け、方向性を示せるよう努力する。

問

2. 桑畑温泉の管理運営について

過去5年間の利用者の推移状況及び収支状況の報告を求める。(資料提

出で)

答・村長

通年営業初年度の平成15年度は黒字計上であったが、平成16年度以降は、入浴者数の減少、燃油代や維持管理費の増加等により赤字営業が続いており、直近3ケ年は1千万円前後の赤字となっている。

昨年開催の地区懇談会では、継続の要望が強く、また平成27年度決算見込みが直近3ケ年と比

較しても赤字額が減少していること、当初の目的である雇用の創出、地域商店の育成、災害時の避難場所等の役割等を考え、平成28年度においては、営業を継続する。ただし今後とも、指定管理の導入、施設売却等も探っていききたい。

問

3. シルバー人材センターの現況は

登録人数、事業実施件数、今後の見通しは

答・村長

登録員数は、女性2名・男性18名の計20名。業務実績は、平成26年度15件で160万円、平成27年度31件で110万円。

今後人材の確保、安全作業の確保、健康増進を図りながら事業展開されるものと期待している。

問

4. 地熱開発の現況は

直接の村の事業ではないが、今後の見通しは。

答・村長

当該事業については、オリックス(株)が下風呂地区に進めており、平

成25年度地質調査及び地質調査、平成26年度は物理探査が行われた。結果は、有望な熱源があることが判明したが、売電のための送電系に問題があるため事業の見通しが難

しい状況にある。村としては、地域振興に大きな効果が期待できることから、電力会社に早期建設に向け要望活動を進めていく。



大霧地熱発電所(鹿児島県)視察

一般質問 Q&A

①教育拠点となる古野の防犯対策と統合後の3小学校の管理体制について



蛸島 巨 議員

問

1. 古野の防犯対策は

答・村長

風間浦小学校は、警備委託により警報機器を設置し夜間警備を行う。日中は、職員室から死角となる箇所に、録画機能付きのカメラ4台を設置し監視体制を強化する。

問

2. 統合後の3小学校の管理は

答・村長

当面は、新小学校へ搬入しない用具や備品等の保管場所とし、下風呂小

学校、蛇浦小学校は災害時の避難場所として使用するため、ライフラインを備えながら維持管理していく。



教育拠点となる古野地区

①豊かな山づくり事業について
②大間鉄道の遺構について



杉山 太 議員

問

1. 風間浦村過疎地域自立促進計画中の豊かな山づくり事業の目的と事業内容は

答・村長

目的は、「海の再生」「治山効果」はもとより、水源涵養林の整備に繋がり、地域住民の安心安全な生活に繋がるものと考えている。
事業内容は、関係諸団体、地域住民が参加しやすい環境整備し、下北森林管理署のご指導・ご助言をいただき村民一丸となって取り組みたい。

問

2. 点在する遺構を更なる観光資源としての活用は

答・村長

旧大間鉄道用地には、倒壊の危険性があるため封鎖した隧道や行政財産として貸付している宅地等も存在し、複合的に整備し新たに活用することは難しい。
下北ジオパーク構想の枠組みの中で、一体的なPRをすることは可能。



大間鉄道遺構

ちよつと一言

村内3小学校で最後の卒業式

易国間
小学校

下風呂
小学校

蛇浦
小学校



易国間小学校 6名 (全卒業生 3,022名)



蛇浦小学校 6名 (全卒業生 1,163名)



下風呂小学校 3名 (全卒業生 3,220名)



3月19・20日に村内3小学校で最後の卒業式が行われました。

多くの来賓と保護者に見守られ15名がそれぞれの小学校で、最後の卒業生として校舎から巣立っていきました。

目標に向かって有意義な中学生を送ってほしいと思います。

(取材・蛸島)

ちよつと一言
編集後記

編集後記

初めての予算審議議会に臨みました。

驚いたことは資料の枚数の多さ、計測したら厚さが、なんと6cm! 議会も喧々諤々の熱闘ぶりでした。皆さんにこの模様、ありさまを伝えることが出来ずに残念です。

村民の皆さんにお願いがあります。今後の議会を励まし育てると同時に、自分達のお金がどのように使われているのか、関心・興味を持ってほしいのです。

そのためにも多くの方々に議会を傍聴して頂きたいと思っています。

(文・酢谷)

議会広報編集委員会

委員長 蛸島 巨

副委員長 酢谷 一利

委員 中嶋 茂

委員 菊池 隆年

委員 杉山 太

